

はくぶつかん

VOL2 NO7

1977.10.1 平塚市博物館

平塚市所蔵美術展 NO2
「二見利節の人と芸術」
10月20日～11月20日

異才二見利節氏の遺作が平塚市へ寄贈されたのを記念して、その画集をふりかえり、展示会を行います。

主催 平塚市博物館
会場 平塚市博物館特別展示室



記念講演「二見利節の追憶」

8%フィルム映写

講演者 重田哲三氏（友人、随筆家）

日時 10月30日（日）午後1時より

会場 平塚市博物館講堂

10月の行事

9/20

神奈川芸術祭
「鳥海青児と昭和の画家たち展」

10/9

平塚市須賀出身の洋画家鳥海青児氏と他の5人の作品展示を行います。

主催：鎌倉近代美術館・平塚市博物館

22
(土)

星を見る会—天体観測入門—
グループで、いろいろな天体観測のやり方を学びます。

協力：大学天文連盟

時間：午後6時～8時



22
(土)

体験学習シリーズ NO16

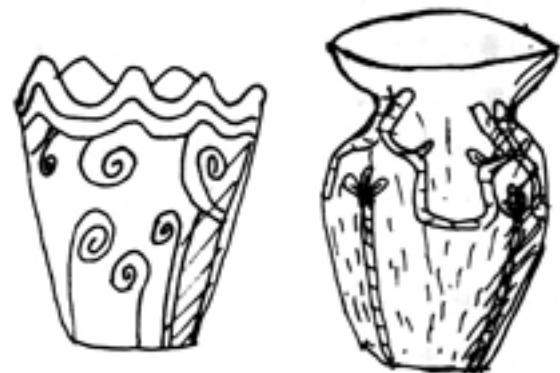
—土器を使おう—

土器を実際に使って、古代人の生活を体験してみる。

時間：午後2時～4時

申し込み：10月12日まで。

対象：小学生15名。多数のときは抽選



行事に参加ご希望の方は、往復ハガキで博物館へお申し込みください。ハガキには、住所・氏名・電話番号を忘れずに記入してください。

11月の行事

6 体験学習シリーズNO17

(日) 「民具を使おう」

稲をセンバを使い脱穀し、ウスで精米し石臼をつかつて粉にしてみます。

時間：午前10時～午後3時

申し込み：10月27日まで。多数のときは抽選で15名。

参加費：100円

16 星を見る会—秋の星雲・星団を見よう—

(水) 秋によく見える星雲や星団を観察する。

時間：午後5時～7時

申し込み：11月6日まで、多数のときは抽選で30名。小学生以下は父兄同伴でお申し込みください。

1920 連続講座

(土) 平塚周辺の民俗—民俗学入門—

身近かな生活の中にある民俗について眼を向け、その意味について解説し、全国的視野のもとで事例を比較していく。

時間：19日 午後2時～4時半

20日 午後1時半～4時半

申し込み：10月9日まで。

対象：中学生以上、60名

テキスト代：100円

20 自然観察会—鳥のねぐらを訪ねて—

(日) 岡崎台地の地形と鳥の観察をします。

時間：午後1時～6時頃

申し込み：11月10日まで。多数のときは抽選で30名

受付の声

一日を通して子供の入館が非常に多いようです。殊に博物館所在の子供さんかと思われませんが、幼児だけで連れだつてくるのが大変多く、ハラハラすることがございます。是非ご父兄のご同伴をお願い致します。又、真面目に学習の場として博物館を利用されている子供さんの反面、只遊び場として入館される子供も多いようです。圧倒的に人気の高いプラネタリウムの投影される日、投影の時間帯を誤つて記憶されている方も多く折角、お起しいただいても、ご覧になれず、がっかりされる方をお見受け致します。是非、正しく投影日、時間帯をご確認のうえ、お起し下さいませ。物質の豊かさになれてしまっている私達ですが、もう一度、自分達の生活等、親子で博物館にお起しいただき考えてみることも有意義な事ではないでしょうか。千葉

館内が開放的なせいか、毎日子供達が来館してくれうれしい事ですが、走つたり、遊びまわつて場所を間違えて来ているのではないかと思われる子供が多く、特に出入口のドアで遊ばれると危いので本当に困っています。ぜひとも止めていただきたく思います。

プラネタリウムは毎回利用者が多く、入場出来ない方もしばしばありますが、そんな時大人の方が利用態度が悪い場合が多くとても残念な事です。プラネタリウムにかかわらず、館内は御家族連れで気軽に楽しんでいただきたいのですが、公共施設であるという事をふまえて、適切に利用していただきたく思います。黒丸

お知らせ

前館長菅間荘は8月31日退職、9月1日中原中学校長に就任。後任として遠藤一男(兼指導部長)が任命される。10月1日付けで新館長佐藤重雄が市民課より異動。また、主任大畑敏治が市民税課へ異動。主任本荘篤美が公園緑地課より異動。

はくぶつかん VOL2 NO7

昭和52年10月1日 通巻18

発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41

TEL 0463-33-5111

印刷 平塚市総務部行政課文書係

©1977